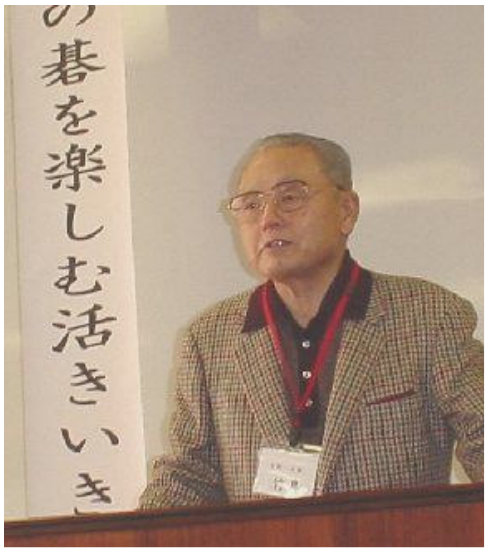
http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

第１８６号
発行日　平成１９年1月２７日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　南大沢５－９－１０－６０１
ＴＥＬ（０４２）６７５－１５８１
発行人　　竹 島　 正 義
編集者　　渡 辺　己 三 男

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

会長年頭の挨拶



碁楽連会長　竹島正義

明けましておめでとうございます

今年は、穏やかな天候に恵まれてよい正月を過ごされたことと思います。私も自宅でのんびりとした日々を過ごすことができました。

昨年は碁楽連の活動に皆様のご理解ご協力をいただき、まことに有難うございました。今年もどうかよろしくお願いします。

ところで、昨年を振り返ってみますと、碁楽連にとって大きな変革の年だったと思います。平成元年の発足以来続いた碁老連から碁楽連へと名称を変え、これとともに規約、規程を整備して団体としての組織を整えました。１０月には、八王子囲碁連盟との合併を取り決め、更なる発展の土台が築かれつつあると思います。そして地味なことではありますが、諸大会での個人成績などもパソコンにより整理され昇格判定も間違いなく行うことができるようになりました。また、もろもろの大会を順調に消化することができましたのも、各理事の尽力はもとより、各同好会のご協力あったればこそと、厚くお礼申し上げます。

今年は、市民囲碁大会という新しい事業が加わってまいります。囲碁を愛好する市民全体が対象となります。これを契機に、碁楽連も高年者だけでなく市民全体を対象とした団体へと一段の発展を図ることが大事なのではないでしょうか？私の任期は今年３月までですが、多少なりとも道筋をつけておきたいのが念願です。まずは、将来へ向けての規約などの改正と、とりあえず今年行われる市民囲碁大会の開催方法だと思います。現理事さんたちと早急に検討したいと思います。その後のことは、現理事のうちもう１年任期の続く人と、新しく選任される理事の方々に期待したいと思います。どうか皆さんも良い提案などありましたら、積極的にお示しくださるようお願いします。

最後に、皆様にとって今年も良い年でありますようにお祈りして新年のご挨拶とします。

第８回　棋聖大賞囲碁大会の結果

平成１９年1月２１日開催

参加者数４４名

Ａクラス２２名（技術顧問７名、７段１５名）

優勝　荒井良夫(技術顧問)　準優勝　名取豊彦（同)　第３位　長崎洋三（同）

Ｂクラス２２名（６段以下）

優勝　山崎修司４段/台町　準優勝　渡辺己三男３段/由井　第３位　勝山恭男２段/石川

第14回　タイトル囲碁大会のご案内

日　　時　平成 19 年 2 月 18 日（日）　受付午前 9 時 10 分～9 時 30 分

会　　場　東浅川保健福祉センター４階第６集会室（東浅川 551-1、電話：667-1331）

主　　催　八王子の碁を楽しむ活きいき連合（碁楽連）

後　　援　八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院

タイトル　八王子名人、八王子王座、八王子天狗

参加資格　各地区同好会の平成１８年度前期及び後期のタイトル獲得者
(王座戦と天狗戦は届出済みの準優勝者が代わりに出席できます)

参 加 費　７００円（弁当代を含む）

競技方法　碁楽連方式

注意事項　①自家用車でのご参加はなるべくご遠慮ください。
②失格にならないように定刻においでください。

地区同好会長さんへお願い

各同好会の地区タイトル戦の優勝者および準優勝者については第 3 頁の表記載のとおり報告を受けております。大会の成績表、対局票を作成するため、貴同好会員の出席予定者を、2 月 13 日（月）中に渡辺理事まで連絡ください。

連絡先（渡辺理事）　電話 626-0608（fax も同じ）
Ｅ－メール　watanabe_kimio@nifty.com

地区タイトル戦の優勝者、準優勝者

同好会名	名人戦 優勝	王座戦		天狗戦	
		優　勝	準優勝	優　勝	準優勝
浅川	真田誠次７段 親松幸治５段	木村一男６段 野原辰弘３段	城大次郎７段	松見勝義５段 小林富男２段	中村益大２段
恩方	吉沢　實７段 福田　卓６段	山崎　稔３段 渕上和男７段	五十棲健一５段	新倉幹夫６段 斉藤　健４段	荒井　正４段
元八王子	郡司弘一６段 吉田征也６段	長澤勝美初段 長島　廣４段	柳　保治初段 山下則文６段	山下則文６段 志牟田修２段	長島　廣４段 三浦和夫５段
中野	浜中訓行２段 清水文彦６段	磯部信広５段 松野　勲初段		浅野照明６段 矢野亮一３段	
大和田	佐藤久雄初段 鈴木浩治２段	佐藤久雄初段 佐藤久雄初段	上野義臣１級 細田正光３級	大里　宏１級 鈴木浩治２段	八木義光４段 安藤義一１級
石川	中村順二３段 石川幌二２段	中村順二３段 市村光彦初段	中山昌久５段 本間邦夫初段	松本健彦６段 大山芳雄２段	戸野敦充５段
由井	穐本佳能６段 花井　進６段	佐々木胖充３段 町野年明３段	下田政男５段 山崎修路４段	齋藤隆男２段 渡辺己三男３段	渡辺己三男３段 小野勝彦２段
台町	小林　實３段 江口靖碩７段	市川公雄４段 長原脩策初段	嶋崎礼樹４段 江口靖碩７段	塩津　浩５段 吉田信夫５段	小林　實３段 市川公雄４段
由木	信江　峻７段 和田幸彦初段	奥山武平３段 杉渕　清４段	和田幸彦初段	和田幸彦初段 菊地武男初段	松浦辰寿６段
北野	古賀照也６段 青木耕榮２段	藤崎　稔６段 安原　明４段	遠藤治夫６段 高野道行５段	前川昌常５段 高野道行５段	柳井光夫４段 山本淳三６段
長房	塚原和利７段 石川義秋５段	斉藤吉明２段 笹本梅吉２段	塚原和利７段 塚原和利７段	松井　豊４段 塚原和利７段	安西　実４段 川合義章２段

平成１８年度地区タイトル戦　優勝・準優勝者（上段前期、下段後期、空白は該当なし）

(注)平成１８年度地区タイトル戦優勝者は、平成１９年２月１８日（日） に行われるタイトル囲碁大会に出場できます（王座戦と天狗戦について優勝者が欠席の場合準優勝者が出場できます）。

地区同好会めぐり（第９回・台町）

台町同好会は、平成８年に「台町市民センター」が完成し、会場の確保が可能となって発足した。それまでは、台町には碁老連同好会は存在せず、台町在住の囲碁愛好者の数名は碁老連由井同好会に所属していた。

当同好会のホームグランドの台町市民センターは、八王子市民の憩いの場として春の桜の名所としてだけでなく四季を問わず長い間市民に親しまれてきた緑豊かな「富士森公園」に隣接し、ＪＲ西八王子駅からも京王山田駅からも徒歩１０分以内の交通至便の場所に位置し、駐車場も完備して車でのアクセスも容易である。

今年で発足１０年を経過したが、当初１０名前後でスタートした会員数はその後着実に増加し、現在４０名となっている（このうち級位者は１１名）。台町在住者が中心であるが、周辺の散田町、緑町、千人町、追分町、めじろ台の一部地域在住者で会員は構成されている。このうち、女性は３名在籍、今は全員級位者だが、初段に近い実力の人もおり、近い将来女性の有段者が誕生すると楽しみにしている。

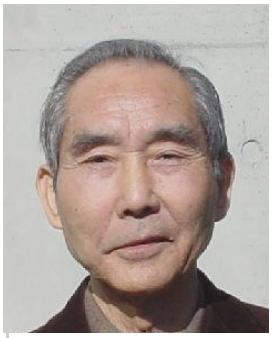
また、八王子碁楽連会員の最高齢者である倉田２段（９４歳）も健在で、昨年度は毎週の例会だけでなく、年６回の大会にもほとんど出場され、“囲碁愛好者はボケない”ことを身をもって示されているのは心強い限りであり、日曜日の午後に常時２０名前後が集まり楽しく碁盤を囲んで「烏鷺」を戦わせている他の会員には大きな励みとなっている。

ところで、今年から総数７００万人といわれる「団塊の世代」の退職時代がいよいよ到来する。定年後の第二の人生を健全に楽しく過ごすには、囲碁は心身ともに老化を防止する最高の趣味だと思う。より多くの高齢者に囲碁を楽しんでもらうには、碁楽連の同好会は受け皿として最適の機能を果たせるのではないかと考えている。当同好会では、級位者を今まで以上に快く受け入れ、上達の手助けをしていきたい。

江口 会長

長原 会長代理

塩津 副会長


渋谷 副会長

投稿

大山詣で紀行

由井寿囲碁同好会長　養田高尾

11 月 5 日、日本晴れで、しかも暖かい日であった。ここ数日不順の続くなか本日は天候に恵まれた。今回の大山参りは数十年前からの念願であった。海水浴、旅行やゴルフなどで伊豆箱根への行きかえりの度に、車や小田急電鉄の車内から永い間仰ぎ見る雄姿に忘れることのできない旅愁を覚えていた。二十代の頃は遠出をして槍や穂高を征服したこともあった。近場でいつでも行けると思うが故に機会を作れずにいたが、やっと念願が叶ったのである。

山好きの二男に相談したところ気持ちよく大山行きを了解してくれた。孫の小学三年の娘と家内の 4 人で待ち合わせの町田駅南口を 11 時半に出発した。相模川を渡り国道 412 号線から厚木市街を通過し246から伊勢原市の県境付近まで来ると遥か遠方に白色の東海大学病院の大きな建物が目に入る。と同時に車内から見た右側の山あいに大山の三角雄姿とその奥の丹沢山塊が見上げるばかりに迫ってきた。246 を秦野方面に進み大学病院前を過ぎまもなく大山方面の標識が目にとまった。相模原大磯線である。それを北に 500m ほど進んだところで、左折の案内に従う。狭い路を 10 キロ前後で神奈川中央バスの大山終点へ到着した。大磯線から分岐した大山道は山あい故に道幅が狭い。近代化とは無縁と思える住宅や、畑を挟んで農家が点在し大山参りの旅情を醸し出す。禅師丸柿が赤く色づいた様子がふもとに多く見られ心にゆとりを与えてくれた。幅 8m ほどの小川を渡った左側に車の整理員らしい人がいたので駐車場を乞うと、わざわざ近くの旅館の入り口に案内して駐車スペースを作ってくれた。車で来る人も多く見られる割には数少ない駐車場所を確保できたのは全くの幸運であった。　最終車留めのこの地点で標高 150 か 200m の筈である。これからケーブルの起点まで標高差 50m の石段と僅かな坂道をまず登る。日ごろ運動に疎遠な 75 歳のわが身には、1 箇所 20 段でそれが数箇所もつづく石段となると非常に苦しい。マイペースで休みやすみケーブルの駅をめざす。道幅は 3m 程度でその両側には土産物屋や休憩所が軒を連ね昔のままの風情が偲ばれる。参拝者も古風な門前町に接し楽しさを味わいながら足にも適度な刺激を与える絶好の機会になるであろう。小３の孫娘は何の苦も無く石段を駆け上がり、そのつど私を待っていた。

車を降りてから約１時間、ケーブルカーの駅に着いた。15 分間隔で運行中のケーブルは100 人ほど、

乗車時間は僅か6分であった。紅葉狩り、休日、最高の秋日和と重なったがほどほどの人出のため大した混雑もなく全てが快適であった。駅の終点から歩くこと5分、3軒の茶店が大広場に面し軒を連ねていた。ここへ着いたのが14時。思いのほか早めであった安堵のためか、にわかに空腹感を覚えた。朝1番に拵えたおむすびを屋外テーブルにひろげ、茶店のおでんで昼食を済ませる。女性2人がアイスクリームを食べお味も美味しかった様子であった。大広場は周りを高木で囲われ、西寄りの山を背景に開放された一片の遥か高所に立派な大山最高の社が見られる。茶店から社殿まで高低差20mほどあろうか、御影石でできた幅約5mほどの石段が最近造られた。御影石の高欄には石段寄贈者の氏名が何十となく彫られ大山の尊大さと参拝者の安全確保の意義に心を打たれた。麓からここまで新しい建造物は何一つなかった。それがかえって心に安らぎを与えてくれていた。が、目の前の立派にリニューアルされた石段が社殿の価値をより大きく増幅しているように感じられた。

石段を登りきった所が大山阿夫利神社である。入り口に大きな鳥居がありその下を抜けると御影石を敷き詰めた幅5mの参道の奥に幅50m高さ約15mほどの紅柄に彩られた大きな社殿が構える。境内の広さは約3000平米（1,000坪弱）前後であろうか。南側に開放された空間には、海抜700mから俯瞰する相模湾が開ける。家族で参拝後、拝殿の右の大山霊水が飲める祠に行く。水筒で持ち帰ることもでき、参拝者の皆さんと列を成し一息入れた。やや暗い祠からの階段を外に出る。社殿と並んだ奥にそれより大きな、新祈祷所と思われる社がある。境内の東側には神主さんと巫女が居られ間口の広い建物でお守りが売られていた。七五三の祈祷看板と菊華展が目にとまった。

ここ大山はまたの名を「あふり山」と言われる。あふりの名は常に雲や霧を生じ雨を降らすのでこの名が起こった。標高は1251m、丹沢山塊東側の独立峰である。御祭神は大山ずみの神で、水の神、山の神、海洋大魚の神として庶民信仰の中心として祭られている。全山が四季おりおり美しい緑や紅葉におおわれ神の山にふさわしい風情で、山頂からの展望は素晴らしい。縄文時代の土器が発見されており、古来からこのあたりに住む人たちの心のよりどころであったことは想像に難くない。又それが今日に至るまで引き継がれていることを今回の大山詣は肌で感じさせてくれた。16時に境内から帰路に就く。境内には山頂から下山した人たちも多く見

られ、帰りのケーブルカーは一回待ちの状況で乗車できた。このケーブルには区間の中央にも駅がある。駅には、成田山、高幡不動尊と並ぶ三大不動尊の一つ大山不動尊が祭られている。

帰りの土産物屋で名物豆腐、羊羹、柿、孫への土産を買い求め帰宅後美味しく頂いた。帰り路は国道246を通らず相模原大磯線で町田に17時帰宅となった。

まとめ

今回の大山詣では若い時からの念願であった。奥多摩の御嶽山、真言宗の高尾山には数回登っているが、この歳で念願が漸く叶えられた。またの機会に大山不動尊にお参りしたいものである。紅葉の時季には10日ほど早く11月の末がよいとのことであった。小学生高学年から 60 代までの人ならばぜひおむすび持参で境内から頂上まで（標高差500m）を登山することをお薦めする。最寄り駅から神奈川中央バスで1日の行程には最適と思われた。

これからも昔の風情をそのままに飾り気のない山あいと麓からの登山道が永遠に保存されることを切に希望する。

原稿募集　薄謝進呈します

囲碁に偏らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライヴ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでも OK です。また、同好会員のご家族からでも結構ですのでお待ちしております。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については、薄謝を進呈します。

原稿送付先　　八王子市南大沢 5-9-10-601　　竹島　正義

電話・ファックス　　０４２－６７５　　－１５８１

わしにろくな碁（は打てないが）囲碁は一番

E メールアドレス　　７ｚ９ｕ６３@ｂｍａ．ｂｉｇｌｏｂｅ．ｎｅ．ｊｐ

会員動向表

同好会名	会員数		会員年齢		会費納入者数		同左・割合		活きいき大会・参加者数	同左・本部負担額（円）	
	H17	H18	H17	H18	H17	H18	H17	H18	H18	H17	H18
淺川	70	69	72.7	73.1	62.0	57	89	82.6	61(6)	1,500	2,100
恩方	34	34	70.8	70.1	20.0	25	59	73.5	60(1)	1,000	2,050
元八王子	39	25	72.6	71.9	22.0	21	56	84	45(6)	2,700	2,400
中野	25	21	72.8	72.1	12.0	21	48	100	45(5)	2,700	3,100
大和田	30	31	75.6	75.8	28.5	31	95	100	48(18)	4,550	3,350
石川	19	20	72.3	72.2	19.7	20	104	100	44(0)	3,500	2,900
由井	32	30	72.7	73.8	23.0	25	72	83.3	53(18)	4,550	2,600
台町	35	34	72.6	72.4	33.2	34	95	100	38(8)	3,150	4,500
由木	23	24	72.1	71.9	18.5	20	80	83.3	47(-1)	1,500	2,650
北野	57	57	73.2	74.0	30.0	40	53	70.2	58(-6)	2,250	4,650
長房	27	25	74.8	75.7	20.0	22	74	88	53(22)	3,300	2,400
合計	391	370	73.1	73.1	288.9	316	74	85.4	552(77)	30,700	32,700

注１．会員数は各年４月１日現在、年令は各年12月末現在

２．会費は各年の上期納入実績

３．割合は会員数に対する割合（%）

４．参加者数の（ ）内数値は平成17年比増減

解説

今年度当初の会員数は、３７０名となり前年度より２１名の減となっている。これは一部の同好会で例会に全く出席していなかった名簿上だけの会員を整理した結果と思われ、実態としては今までとほとんど変わらないものと思われる。一方、会費納入者数は、３１６人と前年度より２７名増となっている。これは、同好会の役員さんたちが会費の集金に努力していただいた結果でもあろうが、例会に出席している人数は実際には増えているのではないかとも推測される。しかし、会費納入率７０％台の同好会は、せめて８０％台を目指して一段の努力をお願いしたいものである。活きいき地区大会参加者数が、前年度比７７名（１６％）増となったのは、参加資格を緩和したことが影響したものと思われるが、大会の活性化には大変良いことだったと思う。最後に、大会への本部負担額は、定額部分の雑費を各会場１，０００円から２，５００円に大幅増としたにもかかわらず、総額で２，０００円増えただけであった。これは参加者が大幅に増えたため、会費収入でまかなわれる部分が増えた結果によるものと思われる。

12月の理事会報告

16 日に開かれました。主な事項は次のとおりです。

1　碁楽連囲碁大会(２段以下の部)の反省点・・・改善を要する事項の検討
　欠席防止対策案（ある同好会では申込者の半数以上が無断欠席)・・・来年度からは、申込期限を大会日の５～７日前程度とするとともに、会費は同好会でまとめて碁楽連に納付していただくこととする。

2　ホームページＵＲＬの変更について
　前月の理事会で、ＮＰＯ法人　八王子市民活動協議会への加入（年会費５，０００円）と説明したが、正確には、入会ではなく、同法人のホームページのレンタルである。
　当面は、「碁楽連だより」の掲載にとどめ、経過を見て今後の方針を検討する。

3　棋聖大賞大会（１月２１日）の準備について
（1）会報掲載をせず、参加資格者に案内状（本日理事会終了後発送）を送るだけとする。参加の回答期限は、１月１０日とする。
（2）　賞状は出さない。
（3）　参加資格者の範囲・・・おおむね前年どおりとするが、地区同好会は、会長のほか役員１名を加える。
（4）　理事は８時５０分集合　会場設営指揮　真辺理事　受付　山崎、刀根理事

4　タイトル大会（２月１８日）の準備について・・・１月理事会で協議
　参加資格者は、各地区同好会からの３タイトル獲得者氏名の報告を三浦理事が取りまとめて、渡辺理事に連絡する。

5　平成１９年度地区団体対抗囲碁会のあり方について
　渡辺理事から、地区同好会の会員数により、チーム数を２としたり２同好会で１チームとすることができるよう提案があった。また、会員数の少ない同好会の出場回数を減らす、との案もあり次回に検討することとした。

6　平成１９年度役員の推薦依頼・・・対象の同好会（中野、大和田、石川）会長宛依頼状を出す。

編集後記

　明けましておめでとうございます。とはいっても、はや１月末になってしまいました。石油価格高騰の中での暖冬はありがたいですね。今年は八王子で雪が降るのでしょうか？
　由井同好会長の養田さん、大山ハイキングの念願かなって良かったですね。これからもどうぞがんばってください。